

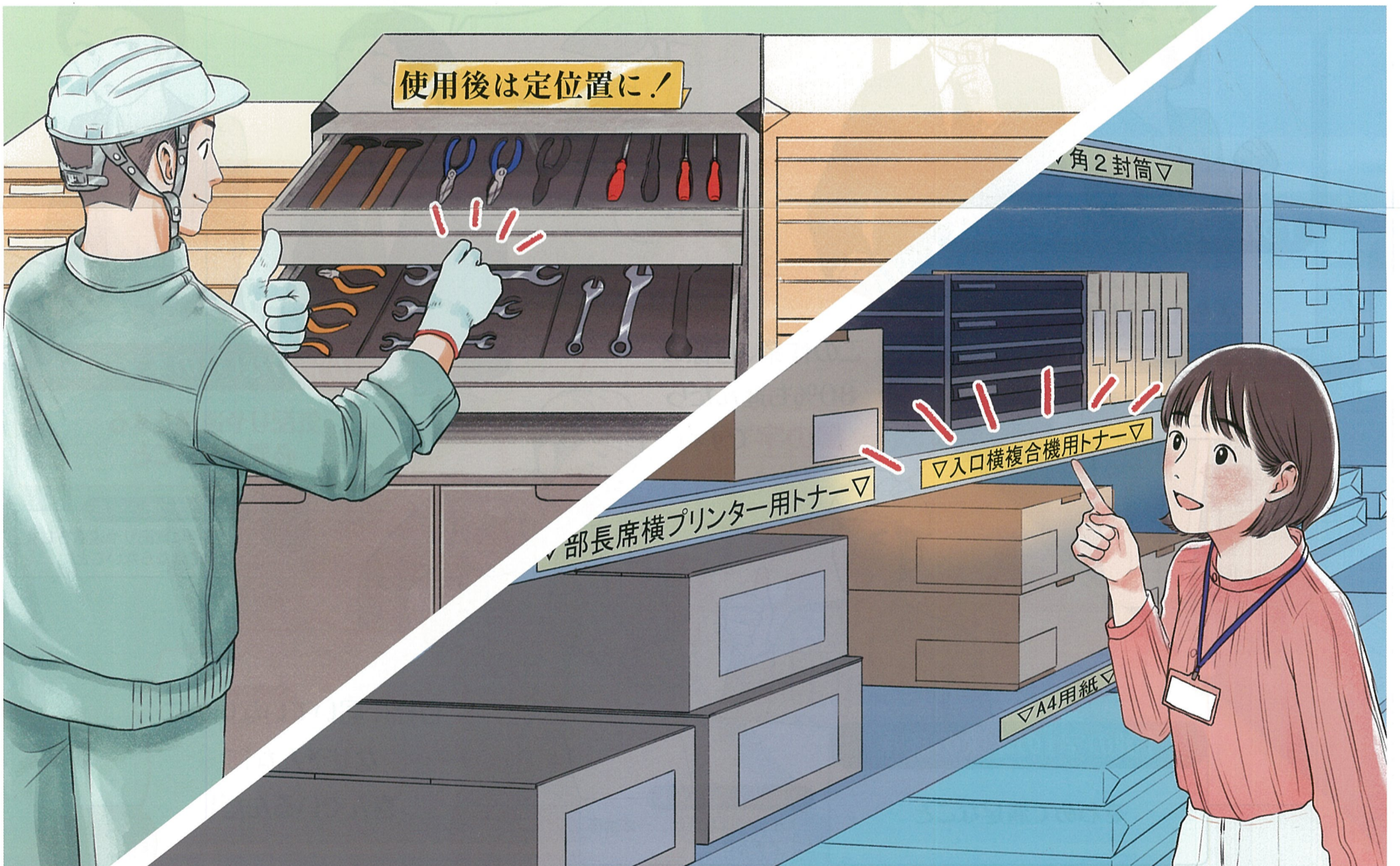
悩み事、困り事、
お気軽にご相談下さい。
☎011-727-5143

日本アシスト会計グループ

〒001-0031 札幌市北区北31条西4丁目1番2号
☎ 011-727-5143 FAX 011-727-9081

探し物で年150時間のロス!? 「モノの住所(定位置)」を決めよう

ビジネスパーソンは勤務時間中、年150時間を探し物に費やしていると言われています。
この時間を減らし、業務を効率化するためには、「モノの住所(定位置)」を決めることが大切です。



耳寄り情報

共用部分の整理整頓では、「定位置、定品、定量」を意識した「3定管理」を徹底することが大切です。整然とした状態が保たれるため、探し物による時間のロスが減り、業務の効率化にもつながります。

[「3定管理」を動画でCheck! →](#)



その言葉の“本来の意味” ご存知ですか？

世の中に広まっている言葉の中には、誤用が定着しつつある言葉もあります。
それをうっかりビジネスシーンで使ってしまうと、コミュニケーションに齟齬そごが生じるおそれも。
日常会話で耳にする慣用語の「本来の意味」を知っておきましょう。

「うがった見方」の本来の意味
物事の本質をとらえようとする事

定着しつつある誤用
物事を疑ってかかるような見方をすること

「気が置けない」の本来の意味
気配りや遠慮をする必要がないこと

定着しつつある誤用
相手に気配りや遠慮をしなくてはならないこと

「御の字」の本来の意味
きわめて満足なこと

定着しつつある誤用
十分ではないが、一応納得できること

耳寄り情報

文化庁は毎年「国語に関する世論調査」で、誤用が広まっている言葉の調査結果を公表しています。誌面で紹介した3つの言葉はいずれも、本来の意味で認識している人よりも、本来とは異なる意味で認識している人の割合が多いという調査結果が出ています。

本来とは異なる意味が広まった言葉を動画でCheck! →

